

南島原市ニュース

令和3年10月12日

タイトル 南有馬小学校6年生がリモートセンシング（人工衛星・ドローン）と現地計測による炭素蓄積量の調査を実施

日本初認定「イオンの里山」で南有馬小学校6年生が、公益財団法人イオン環境財団の支援のもと、最先端技術を用いて環境学習を行います。リモートセンシング技術を活用し、人工衛星やドローンから取得される情報と現地調査の情報を用いて南島原イオンの里山における炭素蓄積量を測定します。

記

【日 時】
10月22日（金）午前9時30分～

【場 所】
南島原イオンの里山
（南有馬町 上原植栽地：南島原市南有馬町甲7808付近）

【出席者】
南島原市みんなの森守協議会、南有馬小児童（6年生）、
公益財団法人イオン環境財団専務理事兼事務局長、
リモートセンシング技術センター、南島原市長、教育長 ほか

【内 容】
樹木の樹高、幹周りを測定し、木の全景、葉、幹のナンバーなどを撮影。
木の体積を求め、質量換算し、炭素蓄積量を測定します。
植樹という活動の効果を数値で把握することで、環境保全活動の意義をより深く理解することができます。

【備 考】
10月21日（木）午後2時5分から3時40分まで、南有馬小学校で
事前学習を行います。

担当部署	農林水産部 農林課	担当者	陣川 和士
直 通	0957-73-6661	E mail	nourin@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	
担当者 連絡先			